Claude Fable 5.2 徹底検証：圧倒的推論力と運用コストのトレードオフ

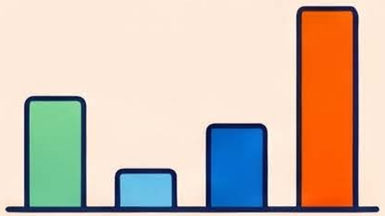
2026年11月に発表されたClaude Fable 5.2は、最高峰の推論力と自律エージェント能力を示す一方、推論設定（Max/High/Medium）によってコストや処理時間に大きな差が生じます。実用化においては、タスクに応じた最適な推論設定の選択が重要です。

推論設定別の性能とコストの比較

Max設定

Max設定は最高性能もコスト約2.9倍





26.54 ドル
費用

46 分
処理

High設定

High設定が費用対効果の最適解



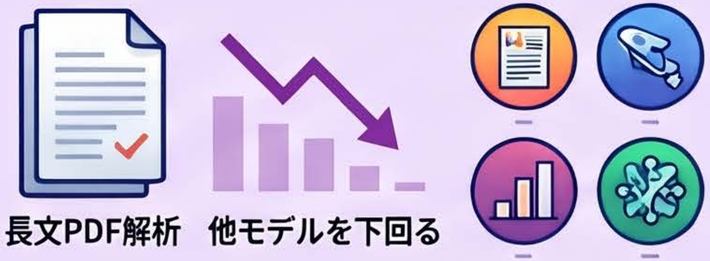


62
性能

9.08 ドル
費用

分野ごとの適性差

分野ごとに顕著な適性差が存在



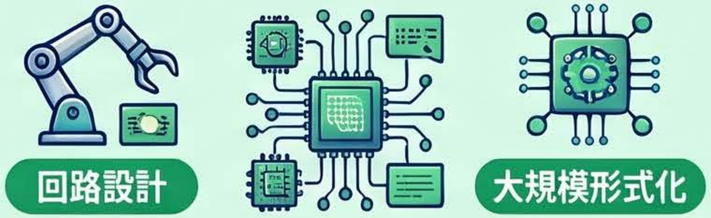
長文PDF解析　他モデルを下回る

推論設定および競合モデルにおける性能指標と課題あたり費用

モデルと推論設定	総合指標	評価課題当たり費用
Fable 5.2 Max	65	26.54 米ドル
Fable 5.2 High	62	9.08 米ドル
Gemini 4 Carbon High	60	7.76 米ドル

実務応用と導入における留意点

マルチエージェントによる高度な試作



回路設計　大規模形式化

懸念　思考上限到達と過剰冗長化の懸念



思考上限到達　過剰冗長化

推奨　標準設定での段階的検証を推奨



High/Medium設定で比較を

Gemini Notebook